

小学部（1年1組） 生活単元学習 学習指導案

日時 令和4年11月30日（水）

3校時 10:30～11:15

場所 小学部1年1組教室、プレイルーム

指導者 藤平 陽子 (T1) 川崎 亜希子 (T2)
村田 綾香 (T3)

1 単元名 「いーな・サンサンプロジェクト～ひまわりのたねをプレゼントしよう！～」

2 単元目標

(1) ひまわりの種をプレゼントする目的や自分の役割が分かり、友達や担任と一緒に活動する。
(知・技)(学・人)

(2) プレゼントした相手に喜んでもらえることに期待感をもち、自分からプレゼントする職員に手渡したりやりとりしたりする。(思・判・表)(学・人)

※()内は、育成を目指す資質・能力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」より、関連したものを記述。

3 単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none">書く、切る、貼る、数えるなどの自分の活動が分かって制作している。プレゼントする相手やプレゼントするときの伝え方や渡し方などが分かる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">見本や手順表を手掛かりにしたり、印に注目したりしながらプレゼントの準備に取り組んでいる。プレゼントをするときの伝え方や渡し方を覚えたり、担任のまねをしたりしながらやりとりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">プレゼントすることに期待感をもって準備をしたり、やりとりをして渡したりしている。学習の流れが分かって、必要な物を準備したり、次の活動場所へ移動したりしている。

4 児童と単元

(1) 児童について

本学級は男子5名、女子1名の計6名の学級である。簡単な言葉でのやりとりが可能な児童や、指さしや身振り、発声で伝える児童が在籍し、学級の友達や担任を中心に自分の意思を伝えて関わりながら活動している。入学当初は学校での生活や新しい人間関係に緊張や不安を感じ、活動に向かうことが難しいこともあったが、活動の時間を少しずつ延ばしたり、できることや好きなことを取り入れた活動を設定したりすることで、興味をもって活動に向かうようになってきた。また、学級での学習や低学年合同の学習を通して集団活動への見通しをもち、落ち着いて活動したり、場や物を共有して遊んだりするようになってきている。一方で、初めてのことや経験の少ない学習、普段関わることのない人との学習では、不安を感じて十分に活動することが難しいこともある。

(2) 単元について

これまで、生活単元学習では壁面飾りやアルバムの制作、野菜やひまわりの栽培活動などに取り組み、担任の手本を見ながら作ったり、担任とやり方を確認しながら一緒に活動したりしてきた。学級の中で活動することが多いが、畑の学習で植え方を教えてくれた他学部の職員にお礼をするときや、りんご園交流で関わった地域の方にお礼をするときに、手紙を書いたりプレゼントをしたりする学習を経験した。特に校内の職員に手渡ししたときは、「ありがとう」と直接言ってもらったり、相手の表情を見たりしたことで楽しさやうれしさを感じる児童の姿も見られた。

本校では、全校で「いーな・サンサンプロジェクト」に取り組んでいる。小学部ではこれまで学部全体で、ひまわりの種まきや水やり、種の収穫などの活動に取り組んできた。本単元では、児童にとって身近な職員にひまわりの種をプレゼントする活動を行う。ひまわりの種をプレゼントするための準備の活動では、字を書く、はさみで切る、シールを貼る、種を数えるなど個々の実態に合わせた活動を設定する。個々の児童が得意なことを取り入れた活動を設定することで見本や手掛かりを基に自分で気付いたり考えたりしながら活動する姿を引き出せるだろう。また、プレゼントす

る活動では、相手が喜んでくれたことで活動の楽しさやうれしさを感じたり、安心感をもって関わる人や活動できる場所が広がったりすると考える。これらの活動を通して、児童のもっとやってみようという学習への意欲が高まったり、身近な人と関わることに興味をもったりすることができる。と考へ、本単元を設定した。

【指導する各教科等の内容】				
小学部	生活	1段階	オ（イ）	身の回りの人との関わり方に関心をもつこと。
		1段階	カ（イ）	集団の中での役割に関心をもつこと。
		1段階	ケ（ア）	身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとする事。
小学部	国語	1段階	思判表Aウ	伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。
		2段階	思判表Bイ	自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。
小学部	算数	2段階	Aア（ア）㊦	個数を正しく数えたり書き表したりすること。
小学部	図画工作	1段階	Aア（イ）	身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどすること。

（3）指導にあたって

- ・ひまわりの種をプレゼントすることが分かり、やってみようという気持ちを引き出すことができるように、「稲川支援学校のみんをにこにこにする手伝いをしてほしい」という「ひまわりマン」からの依頼を受けて子どもたちが「さんさんきっず」になり、プレゼントをするというストーリーを設定する。
- ・本単元の学習が始まるのが分かり、期待感をもつことができるように、テーマソングを流したり、ひまわりマンからビデオレターで本時の活動内容を伝えたりする。
- ・プレゼントに向けた制作では、個々の得意なことを取り入れた活動を設定する。自分から制作に取り組めるように、目印を付けたり、見本や手順表を近くに提示したりする。
- ・学級のみんなでプレゼントすることが分かるように、写真を交えて役割を掲示したり、お互いの活動の様子が見える座席配置にしたりする。
- ・プレゼントを作って渡すことが一連の活動であると分かるように、一単位時間の中で制作し、直接プレゼントを渡してやりとりする場面を設定する。また、見通しをもって活動できるように、同じ活動を繰り返し設定する。
- ・個々のめあてについては、「がんばるマーク」として黒板に掲示して確認する。振り返りについては、何ができたか児童が分かるようにチェック表などを用いながらその場で即時評価する。
- ・児童が単元の見通しをもてるように単元計画表を掲示し、プレゼントした後はプレゼントした職員の写真の写真を貼って振り返りをする。
- ・プレゼントする相手を意識して活動できるように、学習活動でお世話になったり、日頃関わったりすることが多い職員を相手にプレゼントする。

5 指導計画（総時数 6時間）・・・本時 4／6

学習活動	時数	目標	学習内容
1 さんさんきっずになるぞ！ ・ペーパーサートを見る。 ・ひまわりマンからの依頼を受ける。	1	・さんさんきっずの役割が分かり、期待感をもつ。	・学習の見通し ・さんさんきっずの役割の理解
2 さんさんきっず、しゅつどう！ ・2人の職員へのひまわりの種のプレゼントを準備する。 ・プレゼントを渡す。 *繰り返して4回行う。	4 (本時3/4)	・制作での自分の活動が分かり、必要な物を準備したり、書く、切る、貼る、数えるなどの活動に取り組んだりする。 ・プレゼントする職員が分かり、伝え方や渡し方を覚えたりまねをしたりしながらやりとりする。	・書く、切る、貼る、数えるなどの知識・技能 ・伝え方や渡し方 ・身近な人との関わり
3 がんばったね、さんさんきっず！ ・振り返りをする。 ・ひまわりマンからメダルをもらう。	1	・プレゼントをして職員たちが笑顔になってくれたことや、自分が頑張ったことが分かる。	・単元を通じた自分の役割の達成と評価の理解 ・身近な人との関わり

6 本時の計画

(1) 目標

- ・プレゼントして喜んでもらうことに期待感をもって、制作に取り組んだり、プレゼントを届けたりする。
(学・人) (知・技)

※ () 内は、育成を目指す資質・能力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」より、関連したものを記述。

(2) 本単元にかかる児童の実態と本時の目標

名前	本単元にかかる児童の実態	本時の目標
		本時の目標を達成するための手立て
A	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ活動を繰り返すことで流れを覚えて取り組む。身近な人の名前に使われている平仮名を読んだり、簡単な平仮名をなぞり書きしたりする。 ・恥ずかしがり屋で人前で話したり、関わりの少ない人と接したりすることに緊張しがちだが、徐々に大きな声で挨拶できるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントを渡すときの流れや自分の言うことが分かり、聞こえる声でプレゼントを渡す職員に話をする。 ・写真と文字で書かれた、手元で確認できる分担当表とおはなしカードを準備する。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・手順表があると見通しをもって活動に取り組めることが多い。一音ずつ読める平仮名は少ないが、簡単な平仮名を視写する。 ・言葉はやや不明瞭だが、人懐こく自分から教師や友達に話し掛けたり、関わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順表の写真やイラストを見てカードを作る順序が分かり、手本をよく見てカードを作る。 ・活動内容を写真やイラストで示した手順表を準備する。 ・カードに書く文字を1行ずつ提示する。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具やはさみを使うことが苦手だが、やり方が分かると自分から活動に取り組むようになってきた。15程度の数の物を指さしながら正しく数える。 ・関わりが少ない友達や職員には緊張して黙ってしまうことがあるが、担任と一緒に挨拶したり、好きなことについてやりとりするようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントを渡す職員が分かり、「どうぞ」と相手に聞こえるように話して渡す。 ・プレゼントを渡す職員の顔写真を貼ったおはなしカードを準備する。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみの持ち方にぎこちなさがあるが、自分から意欲をもってはさみを使った活動に取り組む。短い直線を、曲がらずに切れるようになってきた。 ・慣れない場所や人が苦手だが、学級の友達や担任と一緒にいることで、その場で一緒に活動したり話をしたりするようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントを渡す職員が分かり、相手に体や顔を向けてやりとりする。 ・自分の役割や渡す職員が分かるように、手元で確認できる大きさの分担当表を携帯し、必要に応じて提示する。 ・相手に体や顔を向けて話ができるように、ロールプレイングする時間を設ける。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・手や指先の使い方に不器用さがあるが、道具の使い方が大まかに分かって活動に取り組む。手順に沿わず、思いついたことから取り組んでしまうことがある。一対一対応がずれてしまうことがあるが、10までの数を正しく数えるようになってきた。 ・人前に出たり、大勢の人がいたりすると緊張してしまうが、学級の友達や担任がいることで安心して少しずつ他学年の友達や職員と関わるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順表を見ながら、ひまわりの種を正しく数えて袋に入れ、プレゼントの準備をする。 ・やることを写真と簡単な言葉で示した手順表を準備する。 ・10まで正しく数えられるように数字を振って枠を区切ったシートを準備する。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・指先の力が弱く、シールを剥離紙からはがすことが難しかったが、自分のやる事が分かり、自分からやろうとすることが増えている。数字に興味があり、数字を見て、指で数を示すようになってきた。 ・人懐こく、誰とでも関わりを受け入れて活動するが、改まった場では緊張したり、周りの状況が気になったりして身振りや発声が少なくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シールを貼る場所を自分で確認しながら、袋の表裏に4枚ずつシールを貼る。 ・注目して貼ることができるように、貼る場所に1～4までの数字を付ける。

(3) 展開

時間(分)	学習活動	指導上の留意点及び手立て	準備物
5	1 本時の活動を知る。 ①ひまわりマンからの動画を見る。 ②活動とめあてを知る。 ③合い言葉を話す。	<ul style="list-style-type: none"> 期待感をもって活動に向かうことができるように、ひまわりマンからの動画でプレゼントする相手を確認する場面を設定する。 個々のめあてが分かるように、写真で確認しながら黒板に掲示する。 	iPad テレビ 単元計画表 「がんばるマーク」のシート
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> めあて：まつだせんせいとまつおかせんせいをにここにしよう！ </div>		
20	2 ひまわりの種のプレゼントを制作する。 <ul style="list-style-type: none"> カードや封筒に宛名やメッセージを書く。(A)(B) ひまわりの種を数えて袋に入れる。(C)(E) 大きいひまわりシールの中心部に貼る画用紙を切り、枠に合わせて貼る。(D) 紙袋に小さいひまわりシールを貼る。(F) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で使う物を準備できるように、顔写真を付けたトレイに道具を入れておく。 制作の流れや活動の終わりが分かるように、手順表を準備し、児童と一緒に花丸マークを貼って即時評価する。 自分の活動ができたことが分かってT1に報告できるように、手順表に示す。(T2、T3) 報告の際はできあがったものと手順表の花丸マークを確認しながら改めて評価する。(T1) みんなで協力してプレゼントの準備ができたことが分かるように、一人一人の頑張りを褒めながら児童と一緒にプレゼントを袋詰めする。 	トレイ ペン 封筒 メッセージの用紙 職員の顔写真シール メッセージの見本 ひまわりの種袋 シール 紙袋 ひまわりシール(大・小) 画用紙 はさみ
15	3 ひまわりの種をプレゼントする。 <ol style="list-style-type: none"> さんさんきつずに変身する。 プレゼントの渡し方を練習する。 プレイルームに移動する。 サンサン体操を踊る。 ひまわりの種を渡す。 先生たちと写真を撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントをする流れが分かるように、めくりの手順表で確認しながら渡し方を練習する場面を設定する。 プレゼントをする楽しさやうれしさを感じられるように、プレゼントした職員から児童の衣装に貼ってもらうにこここマークを準備する。 	衣装 手順表 おはなしカード CD プレゼント にこここマーク iPad
5	4 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの前に、プレゼントの渡し方について児童と一緒におはなしカードを使って評価する。 全員で頑張ったことを共有できるように、制作の手順表やプレゼントするときのおはなしカードに貼った花丸マークを児童と一緒に確認する。(T1) プレゼントに成功したことを感じられるように、単元計画表にプレゼントした職員の笑顔の写真を児童と一緒に貼って称賛する。 	おはなしカード 単元計画表 花丸カード 写真 iPad

(4) 評価

【児童】

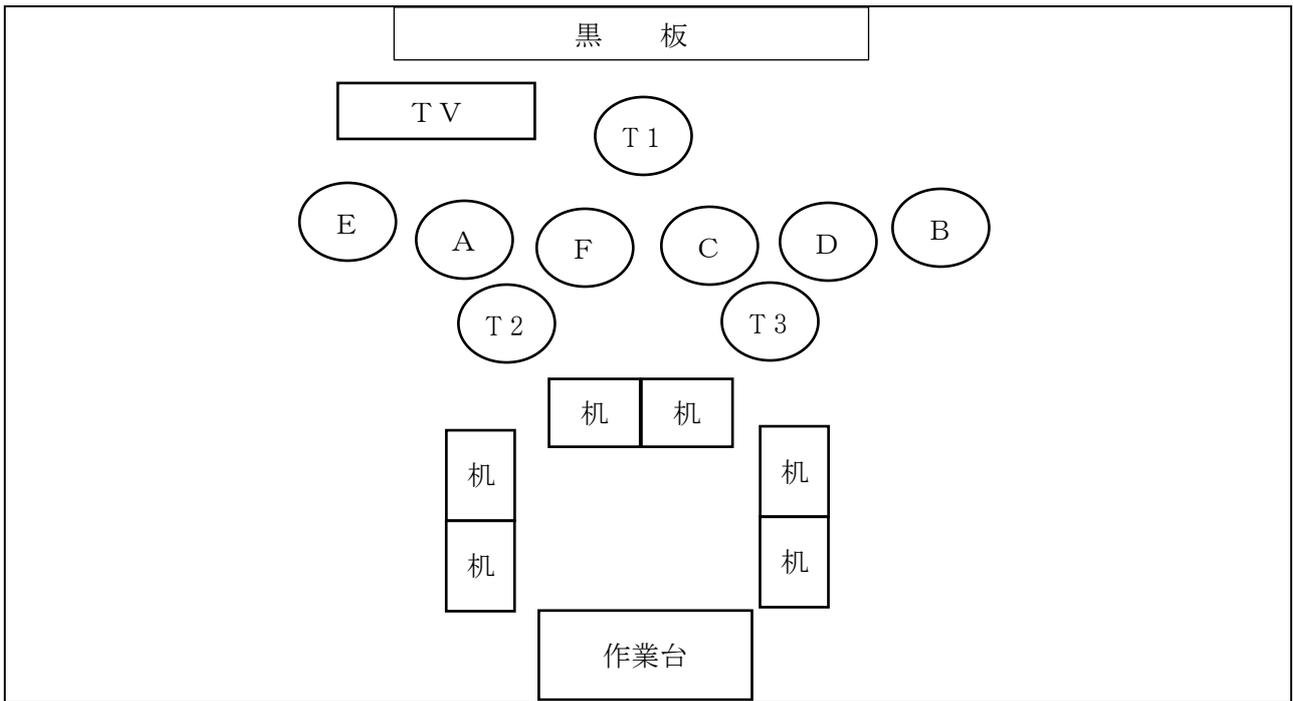
- プレゼントして喜んでもらうことに期待感をもって、自分からプレゼントするための制作活動やプレゼントをする活動に取り組んでいたか。

【教師】

- 自分から活動に取り組めるような役割の設定や教材・教具の工夫ができていたか。
- 活動の見通しや期待感をもてるような活動の設定や掲示等の準備は適切であったか。

(5) 配置図

・活動1、3、4



・活動2

